



表中の赤数字は警報基準値超え

定点医療機関あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナウイルス				感染性胃腸炎				RSウイルス感染症				インフルエンザ			
	3/4~3/10	~3/17	~3/24	~3/31	3/4~3/10	~3/17	~3/24	~3/31	3/4~3/10	~3/17	~3/24	~3/31	3/4~3/10	~3/17	~3/24	~3/31
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	9.00	7.00	6.05	5.41	7.50	6.62	5.00	4.92	0.25	0.15	0.62	0.31	19.81	27.77	17.45	13.00
定点医療機関数	21				22				12				13			
前週比	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↓	↑	↓	↑	↑	↓	↓
コメント	4月から通常の診療体制に移行し、医療費の自己負担割合に応じた通常の窓口負担になっています。				感染者の嘔吐物を処理する時は、換気をしましょう。嘔吐物を処理した後は30秒以上かけて流水で手を洗いましょう。				例年、春から初夏に向けて増加し、夏にピークがみられます。				学校では新学期が始まり、人との交流が増えます。手洗い・せきエチケットなど基本的感染対策を心がけましょう。			
千葉県	7.59	7.00	5.57	5.94	6.09	5.14	4.54	4.38	0.15	0.16	0.29	0.37	18.98	23.10	18.36	14.28
前週比	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↓
東京都	4.25	3.70	3.06	3.48	5.37	5.32	4.18	4.23	0.25	0.46	0.54	0.73	13.43	14.09	11.48	9.40
前週比	↓	↓	↓	↑	↓	↓	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↓

### RSウイルス 全国的に感染者が増加

RSウイルス感染症は2歳までにほぼ100%が感染するといわれています。県内では、患者の約半数は0~1歳ですが、前年と比較して5歳以上の占める割合が増加しています。

#### アルコール消毒が有効

RSウイルスは、せきやくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスが付着したところを触ったりなめたりすることによる接触感染があります。

予防方法は石鹸と流水での手洗いが最も有効ですが、アルコールによる手指消毒も効果があります。

ドアノブやスイッチなどウイルスが付着した手で触れた場所や、使用するおもちゃの消毒をしましょう。



#### ゼーゼーする呼吸には注意！

4~6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。熱は2~4日で下がり、多くは自然に軽快しますが、その後、せきがひどくなる、ゼーゼー、ヒューヒューする呼吸症状が出た場合には、かかりつけ医に相談しましょう。特効薬などはなく、治療は基本的に対処療法(病気の症状を和らげる)を行います。

#### 【自宅で看護する時のポイント】

- 水分がとれない時は、スプーン1杯の水、お茶、経口補水液を少しずつ与えましょう。
- 食事はおかゆやうどんなど、軟らかいものにしましょう。
- 尿の回数が少ない・色が濃い、ぐったりしている時は脱水の可能性があるので医療機関に相談しましょう。

### ゴールデンウィークに海外へ渡航する皆さまへ

外国では、日本にはない病気が発生していたり、日本にいる時よりも感染リスクが高い病気があります。海外で感染症にかからないようにするために、事前に感染症に関する正しい知識と予防方法を確認しておきましょう。

#### 出発前に確認すること

- 渡航先の感染症の発生状況
- 渡航前に受けておきたい予防接種
- 自分が今まで受けた予防接種



FORTH  
 国地域別情報

現在、麻しんが世界的に流行しています。特に東南アジア地域、東地中海地域、アフリカ地域で流行しています。麻しんは予防接種が最も有効な予防方法です。

#### 旅行中に注意すること

- 生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避け、十分に火の通った信頼できるものを食べましょう。
- 動物は、ウイルスを持っていることがあります。むやみに近寄ったり、触らないようにしましょう。
- 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、必要があれば虫よけ剤を使うなどしましょう。
- 咳や発熱、発疹など、なんらかの症状がある方との濃厚な接触は避けるようにしましょう。



#### 帰国後に体調が悪くになったら

医療機関を受診する際は、事前に渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などを伝えてください。